

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月1日

上場会社名 イーグル工業株式会社

コード番号 6486 URL <http://www.ekk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務本部長

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 鶴 鉄二

(氏名) 池田 澄男

TEL 03-3438-2291

未定

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	67,559	24.8	6,641	144.1	6,739	99.8	3,499	152.4
22年3月期第3四半期	54,150	△16.7	2,720	△33.4	3,373	△20.9	1,386	△27.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
		円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	72.04	—	—
22年3月期第3四半期	28.55	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	96,743	40,015	36.0	716.76
22年3月期	100,349	41,546	34.9	720.92

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 34,862百万円 22年3月期 35,004百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
22年3月期	円 銭 —	円 銭 3.00	円 銭 —	円 銭 3.00	円 銭 6.00
23年3月期	円 銭 —	円 銭 4.50	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

* 現時点では、平成23年3月期末の配当予想は、未定とさせていただきます。

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,500	16.4	7,800	90.1	7,650	53.0	4,000	55.8	82.38

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社 (社名)

)、 除外 一社 (社名)

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期3Q 49,757,821株	22年3月期 49,757,821株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q 1,119,034株	22年3月期 1,203,134株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期3Q 48,567,367株	22年3月期3Q 48,557,538株

※四半期レビュー手続きの実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は【添付資料】P.2「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

2. 23年3月期の期末配当につきましては、現時点では未定であります。配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 繼続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(第3四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 繼続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）における経済情勢は、欧州諸国の財政不安、想定を超える為替変動による経済への影響等、不透明材料はありましたが、中国、インド等の新興国での引き続き高い経済成長にけん引され、世界経済全体では緩やかな回復基調で推移しました。

当社を取巻く事業環境については、新興国での自動車・建設機械・一般産業機械の底堅い需要による売上面での好調が維持された一方、急激な円高という収益圧迫要因が浮上する状況となりました。このような事業環境のなか当社グループは前期より取り組んでおります体质改革2ヵ年計画に基づき事業体制の見直しやコスト削減活動による損益分岐点の引き下げ等をおこない企業収益の回復・向上に邁進してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は675億59百万円（前年同期比24.8%増）、連結営業利益は66億41百万円（前年同期比144.1%増）、連結経常利益は67億39百万円（前年同期比99.8%増）、連結純利益は34億99百万円（前年同期比152.4%増）となりました。

セグメント別の事業状況は次のとおりであります。

[自動車・建設機械業界向け事業]

自動車及び建設機械業界向け製品は、新興国市場での堅調な販売により、当セグメントの連結売上高は374億93百万円となりました。

[一般産業機械業界向け事業]

一般産業機械業界向け製品は、新興国市場での需要の回復及び半導体業界向け製品の販売の増加により、当セグメントの連結売上高は193億28百万円となりました。

[航空宇宙業界向け事業]

主力のブランシールの販売回復遅れにより、当セグメントの連結売上高は28億98百万円となりました。

[舶用業界向け事業]

舶用業界向け製品につきましては、新造船の建造隻数が維持されていることを受け、当セグメントの連結売上高は78億39百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産は前期末に比べ36億05百万円減少し、967億43百万円となりました。これは主として現預金の減少57億54百万円、受取手形及び売掛金の増加19億12百万円、のれんの増加12億59百万円、有形固定資産の減少8億39百万円、投資有価証券の減少2億14百万円によるものです。

負債は前期末に比べ20億74百万円減少し、567億28百万円となりました。これは主として借入金の減少36億53百万円によるものです。

純資産は前期末に比べ15億31百万円減少し、400億15百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加30億88百万円、為替換算調整勘定の減少32億74百万円及び、少数株主持分の減少13億89百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点における通期の業績予想につきましては、平成22年7月30日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想から変更ありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①棚卸資産の評価方法

四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、一部で実地棚卸を省略し、前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算出しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

当社及び定率法を採用している一部の連結子会社は、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

③税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

この基準の変更が当第3四半期連結累計期間における損益に与える影響は軽微であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,406	15,160
受取手形及び売掛金	23,445	21,532
商品及び製品	2,660	2,524
仕掛品	5,326	5,022
原材料及び貯蔵品	2,797	2,679
その他	3,001	3,315
貸倒引当金	△82	△81
流動資産合計	46,555	50,153
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,702	10,705
機械装置及び運搬具（純額）	10,728	11,793
その他（純額）	5,838	5,609
有形固定資産合計	27,269	28,109
無形固定資産		
のれん	6,218	4,959
その他	227	220
無形固定資産合計	6,446	5,180
投資その他の資産		
投資有価証券	10,426	10,641
その他	6,143	6,385
貸倒引当金	△97	△120
投資その他の資産合計	16,472	16,906
固定資産合計	50,188	50,195
資産合計	96,743	100,349

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成22年12月31日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成22年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,994	4,992
短期借入金	12,915	13,721
未払法人税等	1,299	1,133
賞与引当金	1,049	1,135
その他の引当金	1	788
その他	11,499	9,285
流動負債合計	31,759	31,056
固定負債		
長期借入金	15,786	18,634
退職給付引当金	8,076	7,943
役員退職慰労引当金	115	179
その他	990	988
固定負債合計	24,968	27,745
負債合計	56,728	58,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,490	10,490
資本剰余金	11,358	11,337
利益剰余金	19,948	16,859
自己株式	△461	△494
株主資本合計	41,335	38,193
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	82	92
為替換算調整勘定	△6,556	△3,282
評価・換算差額等合計	△6,473	△3,189
少数株主持分	5,153	6,542
純資産合計	40,015	41,546
負債純資産合計	96,743	100,349

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	54,150	67,559
売上原価	41,300	50,715
売上総利益	12,849	16,844
販売費及び一般管理費	10,129	10,202
営業利益	2,720	6,641
営業外収益		
受取利息	151	133
受取配当金	716	29
持分法による投資利益	609	746
その他	510	549
営業外収益合計	1,987	1,458
営業外費用		
支払利息	738	618
為替差損	206	554
その他	389	186
営業外費用合計	1,334	1,359
経常利益	3,373	6,739
特別利益		
固定資産売却益	3	48
投資有価証券売却益	828	—
貸倒引当金戻入額	32	60
その他	52	29
特別利益合計	916	138
特別損失		
固定資産売却損	—	61
固定資産除却損	27	110
投資有価証券評価損	—	39
事業再編損	314	—
たな卸資産処分損	101	—
その他	74	159
特別損失合計	518	370
税金等調整前四半期純利益	3,770	6,508
法人税等	1,619	2,271
少数株主損益調整前四半期純利益	—	4,237
少数株主利益	764	738
四半期純利益	1,386	3,499

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	20,437	22,930
売上原価	14,944	17,320
売上総利益	5,493	5,610
販売費及び一般管理費	3,452	3,288
営業利益	2,040	2,321
営業外収益		
受取利息	40	75
受取配当金	271	10
持分法による投資利益	263	377
その他	85	169
営業外収益合計	661	632
営業外費用		
支払利息	231	223
為替差損	—	192
その他	86	2
営業外費用合計	317	418
経常利益	2,384	2,535
特別利益		
固定資産売却益	0	6
貸倒引当金戻入額	4	42
その他	13	9
特別利益合計	19	58
特別損失		
固定資産除却損	14	7
投資有価証券評価損	—	39
たな卸資産処分損	101	—
その他	18	113
特別損失合計	135	159
税金等調整前四半期純利益	2,268	2,433
法人税等	699	597
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,836
少数株主利益	347	184
四半期純利益	1,221	1,651

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,770	6,508
減価償却費	3,615	3,482
のれん償却額	376	431
受取利息及び受取配当金	△867	△162
支払利息	738	618
持分法による投資損益（△は益）	△609	△746
有形固定資産除売却損益（△は益）	30	122
売上債権の増減額（△は増加）	△2,457	△2,928
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,305	△615
仕入債務の増減額（△は減少）	1,626	1,814
割引手形の増減額（△は減少）	△400	97
その他	478	250
小計	7,609	8,873
利息及び配当金の受取額	869	178
利息の支払額	△737	△653
法人税等の支払額	△1,371	△1,881
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,369	6,517
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,548	△2,527
有形固定資産の売却による収入	847	135
投資有価証券の取得による支出	△3,783	△756
投資有価証券の売却による収入	5,907	97
子会社株式の取得による支出	—	△4,060
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△249	—
その他	8	△100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△817	△7,212
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	574	192
長期借入れによる収入	—	1,235
長期借入金の返済による支出	△3,795	△5,712
自己株式の取得による支出	△1	△4
配当金の支払額	△291	△364
少数株主への配当金の支払額	△537	△257
その他	△310	△50
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,362	△4,960
現金及び現金同等物に係る換算差額	85	△141
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,274	△5,797
現金及び現金同等物の期首残高	12,228	14,018
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	7
連結子会社の会計期間変更に伴う現金及び現金同等物の期首残高増減額（△は減少）	△399	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,103	8,228

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 報告セグメント概要

当連結グループの報告セグメントは、当連結グループの構成単位で分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

② 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

(単位：百万円)

	自動車・建設機械業界向け事業	一般産業機械業界向け事業	航空宇宙業界向け事業	舶用業界向け事業	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高							
外部顧客への売上高	37,493	19,328	2,898	7,839	67,559	—	67,559
セグメント間の内部売上高 又は振替高	492	942	—	6	1,441	△1,441	—
計	37,985	20,270	2,898	7,845	69,000	△1,441	67,559
セグメント利益又は損失（△）	3,105	2,538	△109	1,543	7,078	△437	6,641

(注) 1. セグメント利益の調整額△437百万円は、セグメント間取引消去4百万円及びのれん償却△442百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。